

べっぴ

市議会だより

2007.2.1

80



鉄輪「むし湯」

主な内容

P2・3

主な議決内容・12月定例会会期の経過

P4

議案質疑

P5

特集記事

P6～11

一般質問

P12

平成18年 議会活動状況・他

別府市ONSENツーリズム推進基金条例の制定などを可決！

12月定例会は、11月30日(木)から12月14日(木)までの15日間の日程で開かれました。初日に継続審査中の平成17年度決算について認定されました。続いて一般会計補正予算をはじめ、別府市ONSENツーリズム推進基金条例の制定や西別府住宅新築工事請負契約の締結についてなど市長提議案20件の審議が行われ、最終日にすべて可決されました。また、議員から7件の議案が提出され、5件が可決・2件が否決されました。

12月定例会では、初日に決算特別委員長より継続審査中の平成17年度一般会計・特別会計の決算の認定について審査報告がなされ、討論、採決の結果認定されました。この後、補正予算や西別府住宅新築工事請負契約の締結など19件の議案が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任委員会へ付託されました。これらの議案は、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、原案のとおり可決・承認されました。続いて市長から人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについての人事案件が追加提案され、原案のとおり同意されました。

◎ 平成17年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成17年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について

去る9月の定例会において継続審査に付されました「議第88号平成17年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成17年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について」を審査するため、10月30日、31日の2日間にわたり決算審査を行いました。

主な内容として、一般会計の概要では、実質収支は約4億2千万円の黒字ではあるものの、年々減少傾向である。また、主要四基金については、6千万円程度



しかし行財政改革の進捗もかなり前倒しされているが、決して財政運営の健全化にめどがついたものとは言え

ず、来年度から導入予定の
新型交付税制度など、さら
なる国の改革により厳しい
財政運営を迫られるのは必
至であることから、再度、
新たな決意で行革に向けた
より一層の努力を払われる
よう願うものである。

特別会計では、形式収支、実質収支ともに黒字となっているが、特に国民健康保険、老人保健、介護保険の各会計については、単年度収支の悪化が顕著であり、一般会計からの繰入金や制度改正との絡みもあつて、単純に判断することは困難と思われるが、将来を見据えた中・長期的な改善に直ちに着手していただきたいとの要望が述べられました。

（委員長報告より抜粋）

◎ 平成18年度一般会計補正予算
(原案可決)

本会議（上程中の全議案に対する委員長報告、討論、表決）

民生費では、生きがい活動支援通所事業の利用者増

加による追加額、大分県後期高齢者医療広域連合及び設立準備委員会の市町村負担金確定による予算を計上しております。衛生費では、10月からの乳幼児医療制度改正に伴い、負担を緩和する市独自の助成制度となる「別府市乳幼児医療の助成に関する条例」の改正を先の9月議会で議決いただいたおり、決算見込み額に伴う追加予算を計上しております。

商工費では、中心市街地の活性化に関する法律に規定された「中心市街地の活性化に関する施策を総合的かつ一体的に進めるための基本的な計画」を官民一体となつて策定するにあたり、

基本計画に対して意見を提出する役割を担う「別府市中心市街地活性化協議会」に対する運営補助、市内中心部8商店街の駐車券購入補助事業に伴う予算を計上しております。

土木費では、平成19年度に計画しておりました市営住宅の屋上防水工事等及び西別府住宅建替え事業について、国の交付決定が前倒しで確定見込みであり、財源の早期確保の観点から所要の予算を計上しております。また、春木川小学校と石垣小学校の通学区域の一部変更に伴う児童の安全な新通学路の確保を図るため、春木川歩道橋の設置に向けた実施設計等に係る予算を計上しております。

教育費では、いじめや虐待等への一つの対策として、子ども自身の危機回避能力を向上させるため、「子どもの安全を守るワークシヨップ」を市内全小学校4年生、全中学校1年生及び教職員を対象に実施する予算を計上しております。

(市長提案理由より抜粋)

◎ 平成18年度別府市国民

健康保険・競輪・海岸整備・公共下水道・温泉及び介護保険事業特別会計補正予算
(原案可決)

特別会計予算であります
が、今回補正します額は6千32万円の減額となりましたので、総額は563億7千390万円となります。
温泉事業特別会計では、「鉄輪むし湯」の予想を大幅に上回る利用者数の増加に伴い、指定管理料の追加予算を計上しております。
(市長提案理由より抜粋)

条例の制定について

◎ 別府市ONSENツールリズム推進基金条例の制定について
(原案可決)

ONSENツールリズムの推進を図るため、別府市ONSENツールリズム推進基金を設置することに伴い、条例を制定するものです。

条例の一部改正

◎ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正に

ついて
(原案可決)

別府市交通災害共済審査委員会を廃止することに伴い、条例を改正するものです。

◎ 別府市特別会計条例の一部改正について
(原案可決)

別府市海岸整備事業特別会計、別府市交通災害共済事業特別会計、別府市温泉事業特別会計を廃止することに伴い、条例を改正するものです。

◎ 別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について(原案可決)

耐用年数を経過し、老朽

化した市営山田住宅Aを廃止することに伴い、条例を改正するものです。

その他

◎ 工事請負契約の締結について
(原案可決)

公営西別府住宅A及びB棟の新築工事に伴い、工事請負契約を締結するものです。

◎ 別府速見地域広域市町村圏事務組合規約の一部変更について
(原案可決)

地方自治法の一部を改正する法律(平成18年法律第53号)により、「収入役」の制度が廃止され、「吏員」の見直しが行われたことに伴い、規約を変更するもの

です。

◎ 大分県後期高齢者医療広域連合の設置について
(原案可決)

健康保険法等の一部を改正する法律(平成18年法律第83号)附則第36条第1項の規定により、大分県内の全市町村が加入する大分県後期高齢者医療広域連合を設置するものです。

◎ 土地改良事業の施行について
(原案可決)

内成地区において田園自然環境保全整備事業を実施するものです。

◎ 市長専決処分について
(承認)

議員提出議案

議員より会議規則1件、決議1件、意見書5件の計7件が提出され、5件が可決されました。

可決された議案は直ちに関係機関へ送付されました。

● 別府市議会会議規則の一部改正について
(原案可決)

● 飲酒運転撲滅の決議
(原案可決)

● 北朝鮮の核兵器開発放棄と拉致問題の早期解決を要望する意見書
(原案可決)

● 「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書
(原案可決)

● 障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書
(原案可決)

● 公共工事における賃金等確保法(公契約法)の制定を求める意見書
(原案否決)

● 医療制度の改善を求める意見書
(原案否決)

議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。
12月4日に6名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

ONSENツーリズム 基金について

問

基金の創設についての経緯について説明願いたい。

答

本市におけるONSENツーリズムの推進を目的とする市街地の活性化、歴史的建造物等の保存及び活用、観光振興等の事業に充てるために、今回基金条例の制定をするものです。この財源としては、これまでの観光施設整備基金と、ふるさとチャレンジ基金を今回廃止することに伴いこれを原資とし、新たに株式会社イズミの土地貸付料等を毎年積み立てるものです。

問

これまでの観光施設整備基金と、ふるさとチャレンジ基金を一本化した理由について説明願いたい。

答

これまでの、まちづくり基金と文化財や歴史的建造物等に対応できる基金を一本化して、より効率的な運用を図りたい。

問

市街地の活性化、歴史的建造物等の保存及び活用、観光振興等の事業に充てるために基金の創設をするとのことですが、優先順位について説明願いたい。

答

今後答申がされる中心市街地活性化基本計画などに基つき、事業の採択については慎重に対処していきたい。

問

基金を市街地活性化について、どのように活用するのか説明願いたい。

答

ONSENツーリズムの概念は、「参加・協働・再生」「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」を基本理念にしています。中心市街地の活性化についても、かつてのにぎわいの再生をどのようにするのか、またそこに魅力をどう取り戻していくのか、どうしたら人が集まり、交流する状況が出来るのか等々、今回策定する基本計画の将来像としてその実現に向けてこのツーリズム基金の活用を図って

いきたい。

庁舎旧食堂 改修工事について

問

今回、庁舎1階旧食堂の厨房機器を解体・撤去するための工事費を計上しているが、これまでの経緯について説明願いたい。

答

旧食堂は振興センターが昭和60年以降庁舎食堂として経営していたが、厨房機器の老朽化に伴う設備投資などの問題等々で平成18年3月に止むなく閉店したものです。

問

旧食堂に観光協会が入居すると聞いているが今後の庁舎旧食堂の跡利用について説明願いたい。

答

庁舎旧食堂の跡利用については観光協会の入居も含めまして、市民サロンとしての活用を考えているものであります。

問

庁舎旧食堂の跡に観光協会が入居する必要性に

ついて説明願いたい。

答

観光振興のリーダー的な組織としての役割が観光協会として今課せられており、その中で国土交通省や経済産業省、さらに総務省における民間の支援事業の総合的窓口になつていくところであり、今後は、観光宣伝・イベント等は観光協会が主体となり、市は企画・立案をしたと考えている。また、ONSENツーリズムの更なる推進を図るため行政と観光協会そして民間NPOの方々との連携を密にするためであります。

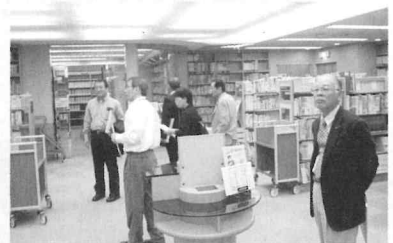
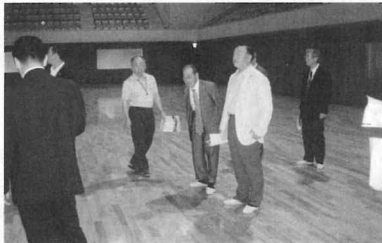


市庁舎1階の旧食堂跡

特集

議員活動フォトグラフ

研修会等参加



県体(議員ソフト)・納涼音頭大会(30回出場)参加



一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

12月5日から8日までの4日間、23名の議員が市当局の見解をたしました。

主な内容は次のとおりです。

要介護の税控除 並び図書館サービス

日本共産党議員団
野田 紀子議員

問

障害者手帳を持たずとも要介護一以上の方は「障害者控除対象者認定書」の交付を受ければ、障がい者と同様に税金の控除がある。個別に通知せよ。

答

12月中に通知を発送の予定。

問

市立図書館の現在の蔵書数と将来の収蔵可能冊数の見積りは。

答

現在9万3千冊。本年度末までに10万3千冊に増加の予定。収蔵可能冊数は13万冊。3年ないし4年後に収蔵可能冊数に達する。

問

新図書館の建設が望ましが財政面等で困難ならば、既設の施設も利用しての分館方式も考慮すべき。他都市並みに電算化が完成するなら分館と本館とをオンラインで結び市民サービスを充実してはどうか。

答

図書館の電算化は新しい

図書館運営の第一歩。今後ステップアップを図る。

問

図書館の専門職である司書を増員し、育成すべきと思うが、どうか。

答

司書の育成は必要不可欠と認識している。正規、非常勤職員、司書資格の有無等、十分に検討する。



蔵書の充実が望まれる
別府市立図書館

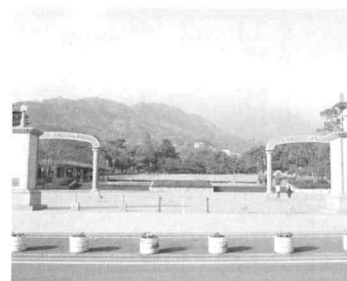
都市公園地域指定 の見直しを

自民党高志会

河野 数則 議員

問

先般、日本公園緑地協会などが都市公園法施行50周年を記念した、「日本の歴史公園百選」に別府公園が選定されたとのニュースを聞き、大変うれしく思うが、公園内の貴重な財産である



日本の歴史公園百選に
選ばれた別府公園

松林の保全には特に力を注ぎ、よりよい公園に育てて欲しい。その反面、北部地区に存在する都市公園の指定を受けた地域では、建築物に対する構造制限に加え、宅地並み課税が課せられるなど近隣住宅地等と比較したとき、不公平感が否めない現状から、公園地域の指定解除を含めた見直しを行うべき。

答

都市計画決定をされた公園には、温水公園、亀川公園、一部未着手の上人ヶ浜公園など数力所の未整備公園があるが、現在の社会経済情勢や、都市施設整備を取り巻く環境が大きく変化する中で、状況に応じた施設投資の検討が必要と考える。本件は全国的な課題であり、公園地域指定の規模の縮小、または廃止等を含めた整備計画の見直しを関

係機関と協議したい。

いじめに対する 学校・教委の対応

自民党新和会
松川 峰生議員

問

いじめにより、児童生徒が自らその命を絶つという痛ましい事件が相次いで発生している事は、極めて遺憾であります。児童生徒が自らの命を絶つという事は、理由の如何を問わず、あつてはならない事である。いじめは、被害児童生徒にとつて身体的・精神的な苦痛を伴うだけでなく、被害児童生徒の学習環境を破壊するという側面もある事に留意し、いじめの事実を確認した学校は、加害児童生徒による「いじめ行為」を直ちに停止させる義務があり、学校はいじめを絶対に許さない毅然とした姿勢を児童生徒全体に示す事が必要で、被害児童生徒を徹底的に守り通す姿勢が必要であると思うが、教育委員会の考えは。

答

いじめは人間として絶対に許さないと意識を、学校教育全体を通じて児童

生徒一人一人に徹底するとともに、心の教育の充実を図ります。また、事実関係の究明に当たっては、情報収集を通じて把握を正確に、かつ迅速に行います。

中心商店街活性化 最大の課題

社民クラブ

内田 有彦議員

問

中心商店街の活性化をするためには、如何にして㈱イズミ「ゆめタウン別府店」に商店街との回遊性を持たせるかが共存共栄の最大の課題と思う。それには次の事が不可欠だ。①商工会議所の協力を得て、会議所の移転を図る。

答

㈱イズミと協議を進めているが、会議所との折衝を早急に行いたい。

問

②魅力ある商店街とは何か。行政として全国成功例等について、若者、シルバーの方々が行ってみたいという商店、例えば世界中に人気のあるアウトレットモールのようなものを、商店街へ紹介するなどのアプローチをする事が大切と思う。

現在その方針で検討中です。

問

③起業を希望する方は多くいるが、市の融資制度では金融機関、信用保証協会の審査が厳しく、店を開く、或いは改装したくても出来ない実情がある。市としてこの緩和策を検討すべきだと思うが。

答

難しい問題点があるが、関係機関と協議可能かどうか検討したい。

高齢者の活動拠点を

自民党新和会

浜野 弘議員

問

少子高齢社会の中で、高齢者の方々の活動拠点をという事で、他都市の現状を視察して参りました。先進地では、10年程前から高齢者センターと児童施設を併設し、老人会がボランティアで運営管理をして楽しい仲間作り、地域での奉仕活動、子ども達との交流の場として施設を活用しています。市老連の方々も大変お元気で、各分野に精通した

方が多く、現在各自治会でも先頭に立って活動をして居られます。観光温泉都市別府の活性化のためにも経験豊かな老人会の方々のお知恵を貸していただくべきだし、そのためにも中心地に活動拠点施設を考えるべきだと思うが、特に観光地である別府市としては、各市の老人会の誘致についても協力をお願いすべきではないか。

答

市中心部に拠点をという要望があるので考えたい。高齢者の方々の集いの場、交流の場となる施設について関係者と協議をし検討したい。

職員の飲酒運転 防止策について

社民クラブ

田中 祐二議員

問

最近、公務員の飲酒運転に伴う交通事故が頻繁に起きている。飲酒運転防止対策を行っているのか。

答

総務部長から各部長に飲酒運転に対する職員の指導を依頼している。

職員が、飲酒による交通事故を起こした場合の処分はどうするのか。

問

飲酒運転で人を死亡させた場合は懲戒免職、酒気帯び運転で人に傷を負わせた場合は免職、停職となる。

問

同乗者は、酒を飲んでいる運転者に運転しないよう注意する義務があり、同乗者も処罰の対象とすべき。

答

他の都市の状況を調査しながら、慎重に検討していきたい。

問

飲酒運転をしただけで懲戒免職になる処分規定を作っている自治体もある。別府市はどうなっているか。

答

停職、減給等いろんなケースがある。

問

私は飲酒運転の同乗者も停職にすべきだと思います。職員の懲戒処分に関する指針を見直すべきである。

答

平成18年1月1日より適用の指針を再度検討していきたい。

温泉を科学し熱源 の最高利用促進を

自民党市民クラブ

清成 宣明議員

問

群馬県高崎市と草津温泉を先般視察した。高崎量子応用研究所と草津町が共同開発、研究し温泉水から希少金属の採集実験を実施、成果を挙げている。更に、温泉熱を利用して、二通りの方法で発電を計画、町の人口の半分、3千900世帯の電気を発電するという。別府温泉は湧出量、泉源数共に日本一であるがそこまで高度利用された事例等はなく、これからの環境の時代にふさわしい計画を早急に構築し、環境が観光に役立つ時代を先取りすべきだと考えるが、当局の方針を伺いたい。

答

草津町の熱意と取り組みには大変感銘を受けている。特に環境を意識し観光を進める姿勢は素晴らしいと評価している。草津町はその源泉の多くが町所有であるところが別府と異なるが、今後とも町事業の進捗状況を注視しながら、本市も温泉を更に科学し、全ての熱

量を有効利用できるよう調査・研究して行きたい。

別府市の文化財 行政について

社民クラブ

高橋美智子 議員

問

別府市は、観光都市として温泉と食べ物についてはお客さんの満足を得ていると思うが、観光客が一番魅力を感じる「歴史的建造物や街並み」については、文化財が多い割に、観光としての文化財保存や活用の取組みが不十分ではないか。また、市指定の文化財（西光寺の輪蔵など）保存について取組むべきではないか。

答

旧浜田温泉保存の際に、歴史的建造物の保全等に関する委員会があったが今は消滅している。また、文化財調査委員会は、教育委員会の諮問に依りて、文化財の指定解除については行っているが、歴史的建造物の保存活用については諮問していない。本年度は、中央公民館の保存活用の在り方について諮問をしている。

長いこと文化財の担当職

員が不足をしていることで、文化財の仕事に支障をきたしているのではないかと

答

別府市の規模からすれば、3名程度の専門職員が必要と思っ



市の指定文化財
「西光寺の輪蔵」

いじめ問題と教委 学校の改革促進

自民党高志会

野口 哲男 議員

問

市内小中学校のいじめの実態調査では、1400件超の事実が判明した。一部解消されたものがあるとは言え予想以上に深刻で、現在教委から担当を派遣し解決に向け取り組んでいる事実もある。全国的に大きな論議となっているが、家庭教育、学校教育、教育委員会の形骸化等複合的な原因が指摘されている。これを大

きな機会ととらえ、家庭のしつけ、教師と生徒のなれあい、校長の権限の拡大、学校と教委の関係を抜本的に見直し早急に心の教育を再生し、教育全般を改革すべきである。

答

ご指摘のとおり、いじめの実態は深刻で、問題点を抽出し早期発見対応を行うため、学校現場へ具体的な内容について指導を行った。深刻な状況に対しては担当者派遣し解決を図っており、今後は家庭・地域の教育力を生かした連携を欠かさず、家庭、学校、地域が一丸となり子どもを育てて行くという視点に立つて学校運営をはかっていきたい。

観光事業と別府の 温泉事業の未来

自民党市民クラブ

村田 政弘 議員

問

先ず観光事業を語る前に夫々の都市の特長があるのでその特長と強みを比較してみました。去る10月に視察した白浜温泉の実態を報告。白浜の目玉は何と言ってもアドベンチャーワールドの六頭のパンダである。

パンダの白浜への興入れの経緯、その後の繁殖、更に観光客数への影響力。ところが白浜温泉への入込客数は、最高時より6、70万人減だ。予想外の実態に驚いた。次に京都、奈良は、全国トップの歴史上の名刹や神社その史跡が豊富で、努力の必要なしで羨ましい。全国的に大ヒットした九重町の夢の大吊橋、長さ290メートル高さ173メートル、日本一の人道橋。オリンピック以来、押すな押すなの大盛況。1ヶ月余りで40万人超。工事費20億。あつと言う間に元を取るであろう。別府は戦後高崎山の猿に支えられ、昭和52年よりアフリカンサファリに支えられたが、残念ながら第3の目玉が出ず意気消沈だ。さて、どうするのか。更に温泉事業も同じ。

学校合併問題 について

自民党新和会

樋口 太 議員

問

私見だが、立地なら野口小、学習環境なら北小に軍配が挙がると思うが、答申が北小で出た後、野口小の

保護者から反対要望書が出たことは、地域コミュニティが崩壊する不安が背景にあり、統合委員会でも「地域の核が無くなれば我々の町の絆がどうなるのか不安である」といった発言があった。それは、先に合併した旧南小が、放置された姿を残しているからではないのか。政策推進課が、廃校活用に取り組んでいるが、行政は縦割りで遅い。もっと関係各課が連携を深め合併に取り組み、少しでも地域の不安を無くす責任が行政にはあるのではないか。このまま合併を急げば紛糾しかねない。教育委員会は合併を焦らず、まず両校の児童の交流機会を増やし、子ども側から仲良く一つになるべきと提案する。その姿から、大人も冷静を取り戻せるのではないだろうか。

答

参考にし慎重に対応いたします。

市職員並びに議員の 綱紀粛正について

自民党高志会

国実 久夫 議員

問

最近、裏金問題、県職員

障がい者問題の 抜本的改善を求めよ

日本共産党議員団
猿渡 久子 議員

の飲酒運転事故、談合事件などが連日マスコミに報道され、公務員のあり方が問われている。また、別府市においても今年水道局職員が懲戒免職処分になり、全体の奉仕者としての市職員への市民の信頼が揺らいでいる。この5年間で懲戒処分を受けた、全ての職員数は何人か。

答 免職3人、停職1人、減給3人です。

問 今年7月に水道局職員が逮捕され、その職員が起訴されるまでの20日間給与が100%支給され、その後懲戒免職処分までの69日間に対して、60%の給与が支給されましたが、民間企業では考えられない事で、公務員を優遇する行為はどうい理解できません。民間企業では、刑事事件で逮捕された場合は即刻懲戒免職で、その後の給与は支給されません。年次有給休暇は労働者としての当然の権利ではあるが、それは病気とか、不慮の事故などのやむを得ない場合の権利であって、逮捕拘留などの場合に適用すべきではない。

問 障害者自立支援法は、小手先の見直しでなく応益負担を撤回し応能負担に戻すよう、抜本的改善を国に働きかけるべき。

答 推移を見守りながら、改善を国へ要望したい。

問 介護保険の社会福祉法人の利用負担軽減制度において、年収60万以上の方に2分の1軽減を行うべき。

答 県下各市で実施はなく、実施する考えはない。国・県へ要望したい。

問 市長退職金（4年間で3千96万円）に対し市民の批判が高い。特別職退職金は早急に大幅引下げをし、次の支給は引下げた額で支給すべき。

答 報酬審議会の答申を受け、内部で協議し3月議会に提案したい。

市内事業所の雇用状況で

は、非正規雇用者の割合が高い。(株)イズミ出店に際しても、正規社員の割合を増やすよう要望すべきだ。

答 雇用者総数4万5千人の内、1万4千人が非正規雇用者です。また、(株)イズミに対しても雇用確保の観点から、要望したい。

スマートICについて

公明党
市原 隆生 議員

問 既存のサービスエリアやパーキングエリアと一般道をつないで、その通り道にETC専用ゲートを設置してインターチェンジ(IC)として利用するスマートICを別府湾サービスエリアに設置できないか。

答 当地における設置によるメリットは大きく、今後、国・県等に指導を受けながら、研究を進めたい。

問 現在九州では福岡県に1ヶ所しか設置されていない。常設となった18ヶ所、及び現在設置実験中の14ヶ所においても、観光客の増加や

通勤時間の大幅な短縮等が報告されており、特に医療機関への緊急車両の時間短縮が大きな利点であるとしている箇所が多く見られる。来年の12月にはゆめタウンのオープン予定となっているが、現状の道路運行状況では観光客にはもちろん、市民にも大変な迷惑をかけるのではないか。

別府市の弱点は、道路事情の悪さにあると考えているが、一日も早い設置に向けて努力してもらいたい。

浜脇の生活環境整備 と市長の政治姿勢

自民党市民クラブ
首藤 正 議員

問 ①県道別府狭間線②市道河内田代別府線③両郡橋町内の道路整備等の状況について説明願いたい。

答 ①県は、最重点要望事項として国に整備促進を要望する。②来年度現地測量及び事業計画等の検討をした。③今年度中に調査検討する。

問 浜脇地区の交通渋滞緩和策として、浜脇公園内に道

路を新設してもらいたいとの地元の要望に対して、要望に答えられるよう関係機関等と充分協議するよう質した。また、市は浜脇地区の市営住宅活用策は売却を考えているが、朝見住宅の活用については、特色のある公園として活用すべきだと質し、続いて、東別府駅周辺の広告看板の乱立防止対策を早急に講じること。

また湯都ピア浜脇の地下駐車場料金の見直しをすべき等、当局の考え方を質した。最後に、市長においては、

市民党の市長として市長選に立候補し、市民の負託に応えるべきであると質した。

答 市民の賛同が得られるなら引き続き市長の職を全うし、市民政治を実現するため全力投入したい。

道徳教育について

自民党高志会
永井 正 議員

問 道徳教育は家庭で親が日々の生活の中で教えていくが、学校では担任の教師が行うのか、それとも道徳教育の専門家が行うのか。

答 担任が行う。地域の優れた人材も活用している。

問 指導の出来ない不適格と思われる教師がいるのではないか。

答 教材研究や、授業の創意工夫が不足している教員がいる。学校長を通して強く指導する。学校全体が共通認識すべき問題だ。子どもの心に響く教育が充実するよう、教職員の研修に努力する。

問 教室の学問だけでなく、委員会やクラブ活動、教育活動全体を通じて考えていくべきではないか。

答 総合的な学習の時間の中で、人材活用やボランティア活動、自然体験活動等、より体験的・実践的な活動を実施する学校が増えている。各学校にも実践的な道徳教育充実を働きかけていく。

山家の生活道路について

公明党

堀本 博行議員



拡幅が望まれる山家入口のトンネル道

問 先の9月議会で山家地区の住民が浜脇方面へ行くための、東別府駅下の浜田川トンネル拡幅の質問をしたが、JRと協議してみるとの答弁があった。その後、山家入口のガードで工事があり、早速調査に掛かったかと期待しているが、JRとの協議はどうなっているのか伺いたい。

答 まず、入口のガード工事についての工事は、JR九州が、ガード橋桁の老朽防止工事を行ったものであります。次に、浜田川トンネルの拡幅についてのJRとの協議については、トンネル上が東別府駅のプラットフォームで駅構内となつているので、JRと、このトンネルの拡幅について技術的に可能か協議したところ、拡幅は可能であるが通常の

事業費より費用は増加するとの返答がありました。今後は、関係課と協議を進め、当面の対策として、トンネル内の南側水路、北側歩道の構造を、南側水路部分を中央部に移し、鋼製の網蓋グレーチングを架け、トンネル全体を歩道とすることが可能ではないかと考えています。

温泉の集中管理を 保安林の確保を！

公明党

岩男 三男議員

答 源泉が止まったとの連絡を受け、翌日、緊急避難的な措置として源泉の代替掘削が終わるまでの間、十分とはいえないものの、市の給湯管から1軒の旅館に給湯いたしました。残る5軒は、鉄輪温泉組合の余剰温泉で対応したところであります。温泉の集中管理については、私権の絡む問題でもあります。温泉の集中管理について、私権の絡む問題でもあります。温泉の集中管理について、私権の絡む問題でもあります。

公の委託契約の現状 と今後について

社民クラブ

麻生 健議員

問 自治体による委託契約には公共工事等の建設、製造、労務提供部門があるが、最低制限価格制度、低入札価格調査制度の制定されていない労務提供型の委託契約において、今年8月にふじみ野市のプールで起きた幼児死亡事故は、経済効果を優先し、本来、最優先させなければならぬ管理運営が徹底されていない事故と認識しています。

るを得ません。そこで、環境、福祉、男女平等参画、人権、障がい者雇用、厚生労働等の社会的価値を定め、全ての市民が安全で安心して働け、暮らせるための公契約条例の制定は必要だと思いますが、別府市の現状と今後の考え方についてお尋ねします。

答 別府市の業務委託については議員からご指摘がありましたが、他都市等の状況も調査し、市民サービスの向上、充実につながるよう努力してまいりたいと思っております。

市民の痛みを やわらげる市政を

日本共産党議員団

平野 文活議員

問 介護保険法の改悪により、介護用ベッドなどを利用できなくなった高齢者が、再度利用できるような対応すべきだ。

答 認定の区分変更申請や、他制度の活用などで対応したい。

問 集合住宅の水道料金につ

いては、戸別徴収制度を導入すべきだ。また、福祉減免制度は下水道料金にも適用すべきだ。

答 戸別徴収制度は、平成19年度から導入する。福祉減免の下水道料金への適用は考えていない。

問 高校奨学金は、希望者全員に支給できるように予算措置をすべきだ。

答 教育委員会として検討する。

問 子どもの読書活動を推進するために、蔵書確保、エアコン設置、司書配置など、学校図書室の充実を。

答 蔵書の確保には努力する。エアコンは、校長室などへの設置が終了後に設置できるようにしたい。司書については、中学校エリアことの配置を検討する。

観光客増加と子どもの教育環境整備

市民の声クラブ

池田 康雄議員

問 市長も観光の再浮上を掲

今こそ、行財政改革の抜本的改革を

行財政改革クラブ

泉 武弘議員

問 地方交付税の減額。そして生活保護費、介護保険、老人保健で増加。加えて退職金の増加で大幅な財源不足が生じるが、今後の財政運営をどうするのか見解を求めます。

答 それらの影響で、不足額が7億円ほどになります。15億円ほど基金を取り崩して財政運営をしなければなりません。

問 基金も24年に枯渇する。何度も指摘しているが、小手先の改革ではなく、全ての事業を見直し、抜本的な改革をしなければ、別府の明日が見えてこない。

答 全ての事業を見直します。

問 浜田市長と私の違いは、行財政改革に対する意識と進め方にある。市民のために真剣に取り組んで欲しい。また、長幸建設に対する工事指名は、今でも正しかったと思っているのか見解を

求めたい。

答 入札回数を見ると留意する点があり、指名委員会では協議した。今後、批判を招かないよう適正な指名を心掛けていきたい。

市有区営・区有区営温泉について

自民党新和会

萩野 忠好議員

問 近年、区営温泉の運営は苦しく、年々減ってきている。故安部巖先生の別府温泉湯治場大辞典には、196の浴場が詳しく説明されているが、現在では99施設となっている。市有区営・区有区営の温泉に対しての補助はどうなっていますか。

答 平成18年度予算では、共同温泉に要する経費は1150万円で、これは温泉建設（改修）等の貸付金及び補助金です。

問 市は建物だけを対象とするのではなく、運営費についても補助してほしい。町内温泉は地域密着型で永年、住民が裸の付き合いをする重要なコミュニティの場所

であります。区営温泉が減っていくと、別府温泉の大きなイメージダウンになる事は間違いない。今後は行政として、責任のある施策で町内温泉を守るよう考えてほしい。町内と保存について話し合ってください。

答 12月18日に、区営温泉の代表者と意見交換会を開催する予定であり、皆さんの意見を聴いてみたいと思っています。

『べっぶ市議会だより』の訂正とお詫びについて

平成18年11月1日号（No. 78）の『べっぶ市議会だより』の記事中、数字の記載に誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

【訂正箇所】

9ページ首藤正議員の「一般質問」において、最初の質問に対する答弁中、2行目から3行目にかけての箇所。
（誤）
7億7千万117万円
（正）
7億7千万117万円

平成18年 議会活動状況（平成18年 1月～12月）

（１）本会議及び議決件数

区 分		会期日数	傍聴者数	市長提出 議案	議員提出 議案	その他	合計
定 例 会	第 1 回（3 月）	22日	317人	46件	4件	1件	51件
	第 2 回（6 月）	14日	97人	27件	2件	1件	30件
	第 3 回（9 月）	17日	140人	15件	5件	1件	21件
	第 4 回（12月）	15日	104人	21件	7件	1件	29件
臨 時 会	第 1 回（4 月）	3日	61人	2件	0件	0件	2件
合 計		71日	719人	111件	18件	4件	133件

（２）常任委員会

区 分	開催日数	付託件数	調査会 日数
総務文教委員会	5日	31件	2日
観光経済委員会	6日	23件	2日
厚生委員会	5日	42件	4日
建設水道委員会	5日	22件	2日
合 計	21日	118件	10日

※この他に、議員が議会代表として、市長等より委嘱され、各種審議会・協議会委員として活動しています。

（３）特別委員会等

区 分	開催日数	付託件数	調査会 日数
決算特別委員会	3日	件	日
議会運営委員会	16日	件	日
各会派代表者会議	5日	件	日
全員協議会	1日	件	日
議会報・ホームページ 運営委員会	8日	件	日
合 計	33日	0件	0日

—メモ— 付託とは

議会の議決を要する事件について、議会の議決に先立ち詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会に審査を委託することを言います。

なお、付託される事件は、議案、請願、意見書決議など、議決を要するものとされています。

傍聴のご案内

- ◆本会議はどなたでも傍聴できます。
- ◆お気軽に議会棟4階へお越し下さい。
- ◆傍聴席は80席あり、車椅子席も7台分用意されています。
- ◆次の定例会は2月下旬から3月中旬を予定しております。

◎政治家に、寄付を勧誘・要求することとは禁止されています。

◎政治家が入学・卒業・就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合へ祝儀などの寄付をすることは禁止されています。

お願い

○人権擁護委員

宮崎 みき子氏
（新任）

次の人が、12月14日の本会議において、委員に任命等の同意がなされました。

人 事